

報道関係各位

株式会社デアトレ

ランナーの大半がRUN ブームの持続を予想するも
6 割が施設や大会の充実を要望
ランニングスクール+Q、ランナーズアンケート vol.2

ビギナーから上級者まで、ランニングに魅せられたすべての人のためのウェブスクール、「ランニングスクール+Q」(<http://www.runningschoolq.jp> 運営元：株式会社デアトレ)は、スクール生(「ランニングスクール+Q」のWeb 登録者)を対象に、ランナー自身がランニングブームの今後をどう見ているかなどについてのアンケート調査を実施しました(対象男女 1,258 人、インターネット上)。

本アンケート結果の詳細は、2010 年 6 月 4 日より「ランニングスクール+Q」内で公表いたします。 <http://www.runningschoolq.jp/report/enquete2/>

【アンケート結果の概要】

女性ランナー増が原動力、「RUN 人口はもっと増える」は 33%

アンケートでは、回答したランナーの周囲で、この 1 年間に新しくランニングを始めた人の数は平均 2.7 人という結果でした。

新しくランニングを始めるきっかけとして、従来からいわれてきたランニングの魅力である、「目標達成による充実感」「マラソン大会の醍醐味」「ダイエット効果」などに加えて、「オシャレなウェアが増えたから」(女性 57%、男性 42%)、「辛いスポーツから、楽しいスポーツに、イメージが変わってきたから」(女性 45%、男性 34%)など、女性からの好意的な意見が目立ちました。女性が参加しやすい土壌が整ったことや、お金をかけずに始められるお手軽感が、競技人口増を後押ししていると考えられます。

また、ランニング人口の推移については、今後「増加する」(33%)、「横ばい」(46%)という答えでした。これに関連して、「ランニング人口の増加にしたがって、施設や大会をもっと増加・充実してほしい」という意見が全体の 61%からあり、ランナーの多くが、これらの面で何らかの不便や不満を感じていることが明らかになりました。

【報道関係者からのお問合せ先】

株式会社デアトレ アンケート担当

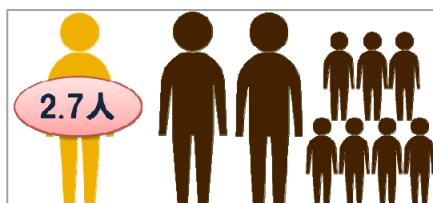
TEL: 03-6825-1493 E-mail: press@runningschoolq.jp

【メディアご掲載時の一般の方からのお問合せ先】

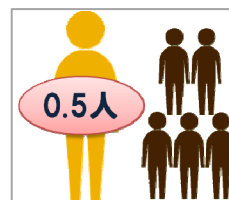
ランニングスクール+Q事務局 info@runningschoolq.jp

詳細結果

Q1. あなたの周りで、この1年間でランニングを始めた人は、何人くらいいますか？
（ご自身は除く）



Q2. あなたの周りで、この1年間でランニングをやめた人は何人くらいいますか？
（ご自身は除く）



身近なランナーの増加を実感

身近でランニングを始めた人数は平均 2.7 人、ランニングをやめた人は平均 0.5 人という結果でした。ランナーの実感としても、周囲で新規ランナー数が増加していることがわかります。また、本アンケートの回答者のうち、1 年以内にランニングを始めた人は、全体の 21%（268 名）にのぼるため、その人の数も加えると実際の増加数はもっと高いといえるでしょう。

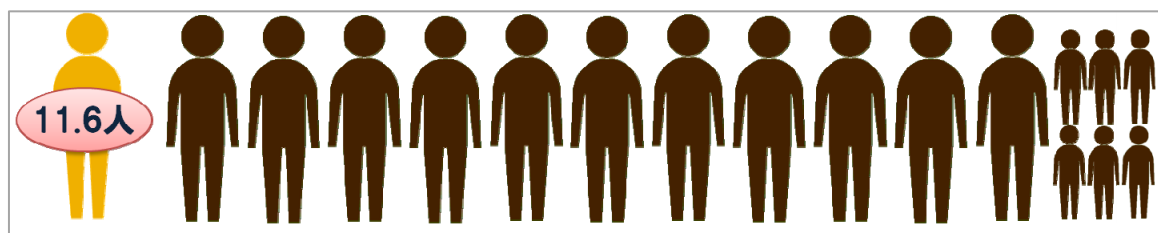
Q3. あなたのランニング仲間は、何人くらいいますか？（インターネットで知り合った人も含む）

女性は仲間と走る楽しさを重視、男性は一匹狼派・グループ派に分かれる

ランナー仲間の人数は、総合平均：11.6 人（男性：11.2 人、女性：12.7 人）という結果でした。しかし、女性回答者のうち「0 人」とした人はわずか 4%で、ほとんどの女性ランナーは、仲間と一緒に走っていることがわかりました。

これに対して、男性回答者で「0 人」と答えた人は 17%にのぼり、男性ランナーは、仲間と走る人と、一人で楽しむ人に二極化する傾向がみられました。

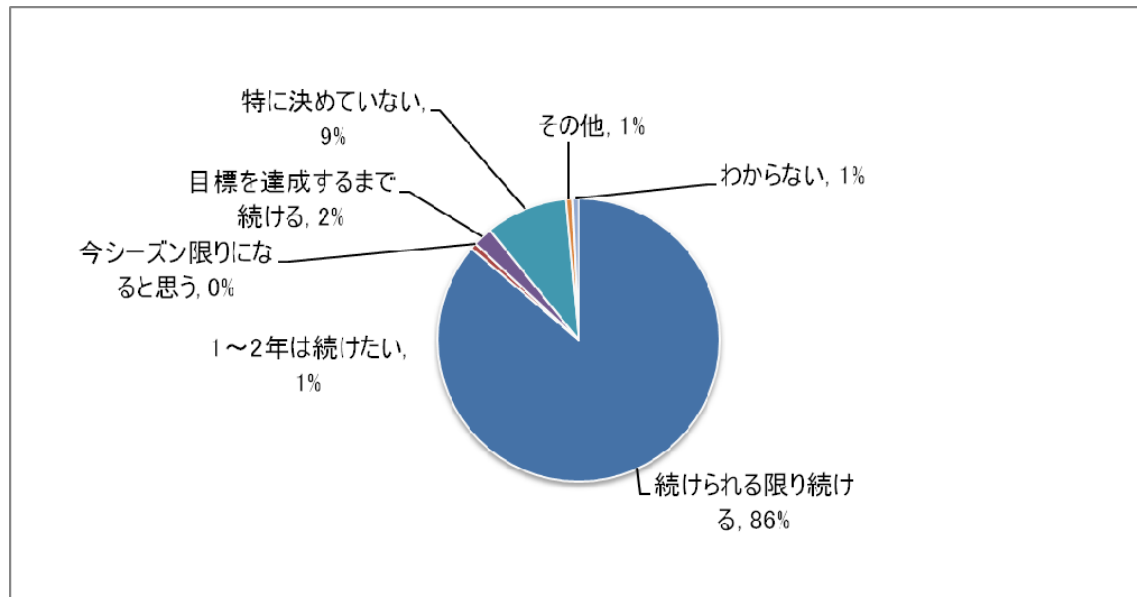
ランニング仲間の存在を重視する女性層の参入が、新規ランナー数の増加の大きな要因となっていると考えられます。



Q4. ご自身についてお答えください。ランニングをいつまで続けようと思いますか？（単一回答）

“続けられる限りは現役”が大多数、生涯スポーツとしての人気うかがえる

「続けられる限り続ける」が86%を占め、生活になじむスポーツとしての底力が感じられます。調査対象がランニングスクール+Qのユーザーのため、ランニング肯定派が多いというバイアスはあるものの、「今シーズン限り」「1～2年は続けたい」をあわせても1%しかなく、全体的に継続する意思が読みとれます。



Q5. ご自身がランニングを続ける理由となっているものやモチベーションを高めているものは何ですか？（複数回答可）

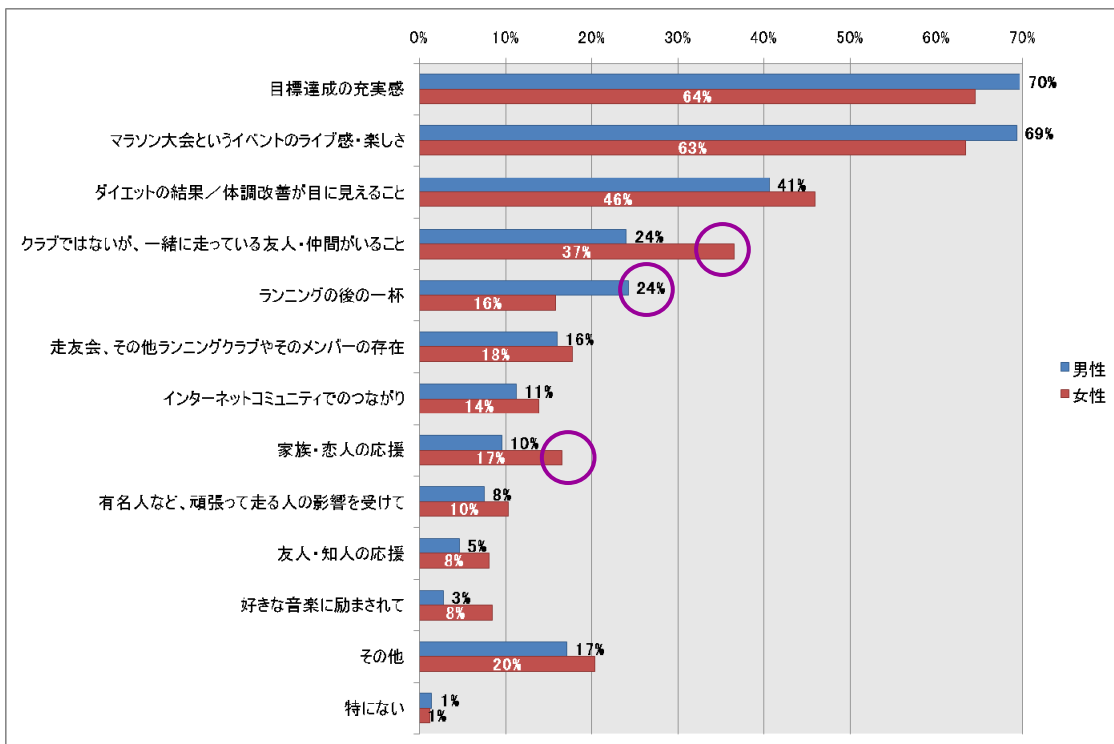
男性は目標・大会に加えて「ランニング後の一杯」が大事！

女性はダイエット効果や仲間の存在でやる気UP

全体では「目標達成の充実感」「マラソン大会というイベントのライブ感・楽しさ」がともに全体の68%にのぼり、マラソン競技自体の醍醐味が上位につけています。

一方、男女での違いが目立った項目もあります。「ランニングの後の一杯」では男性が24%、女性は16%あげていて、走った後のお酒を楽しみに頑張る男性ランナーが、1/4にのぼることがわかりました。

また、「一緒に走っている友人・仲間がいること」では女性が37%、男性が24%、「家族・恋人の応援」では女性が17%、男性は10%など、女性ランナーにとって人の繋がりがモチベーションの原点になっていることがわかります。Q3.の結果とあわせても、女性ランナーにとって、仲間の存在が重要であることが浮き彫りになりました。



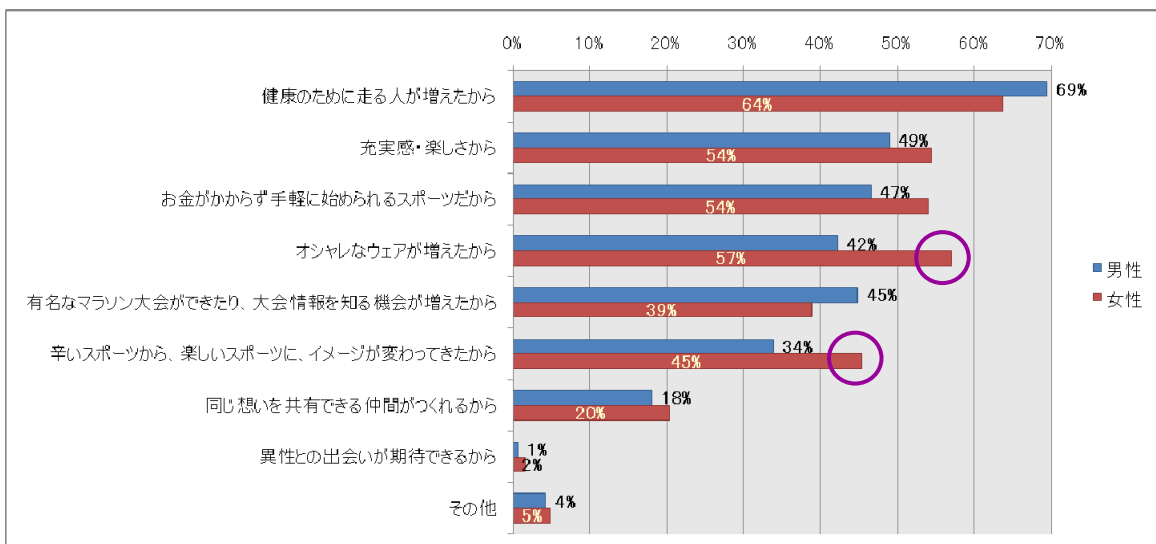
Q6. なぜ、今 ランニングの人気の高まっていると思いますか？（複数回答可）

女性がこぞってあげる「オシャレなウェアの増加」「辛いスポーツからのイメージの変化」

全体としては「健康のために走る人が増えたから」（68%）が最も支持される結果でした。

また、多くの女性ランナーが「オシャレなウェアが増えたから」（女性：57%、男性：42%）、「辛いスポーツから、楽しいスポーツに、イメージが変わったから」（女性：45%、男性：34%）と回答しており、それぞれ男性よりも10ポイント以上多い回答率でした。

「お金がかからず手軽に始められる」（女性：54%、男性：47%）点も評価されており、第1回アンケート（<http://www.runningschool.jp/report/enquete1/index.html>）でも示されたとおり、不況に強いスポーツとしての特徴が発揮されたといえます。

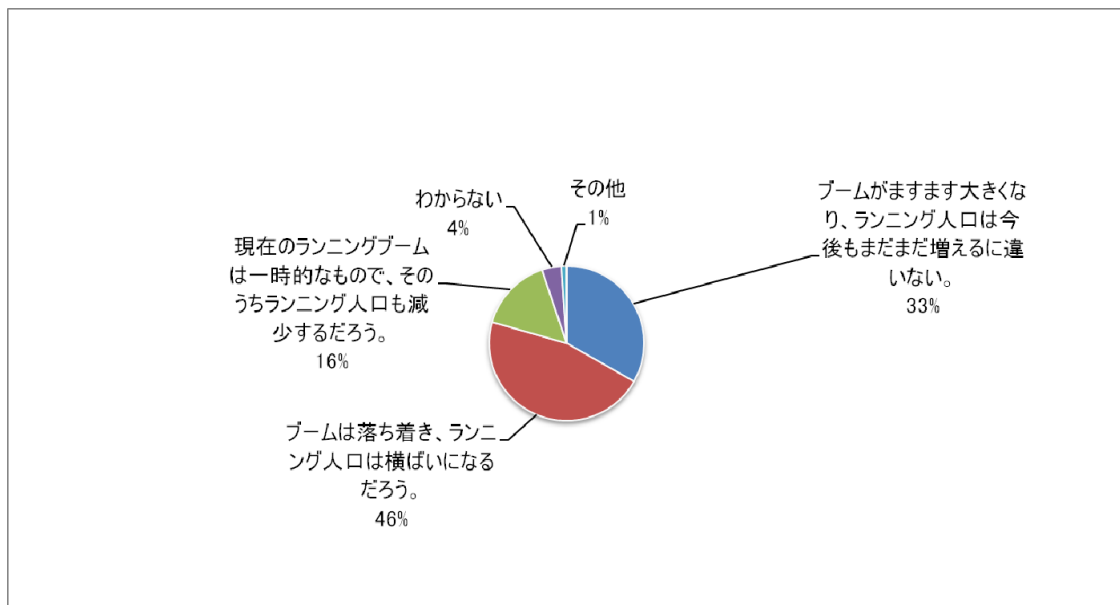


Q7. ランニングブームは今後どうなると思いますか？最も近い回答をお選びください。
(単一回答)

ランニング人口、横ばい以上は 79%、増加見込みは 33%。当面は安泰のランニングの世界ランナー自身に尋ねたランニングブームの今後では、人口が増えると予想する人は 1/3 に達し、横ばい予想を加えると 79%にのびりました。ランニング人口が減少すると予想する人は 16%にとどまり、まだまだ勢いが続きそうな結果になりました。

この背景として、Q5. であげられるモチベーションが、他のスポーツと比べても手に届きやすく実感しやすい点や、Q6. にあるランニングのイメージ刷新、オシャレなウェアが増えた点など、新顔ランナーが参加しやすい条件が整ってきた点が大きく起因していると考えられます。

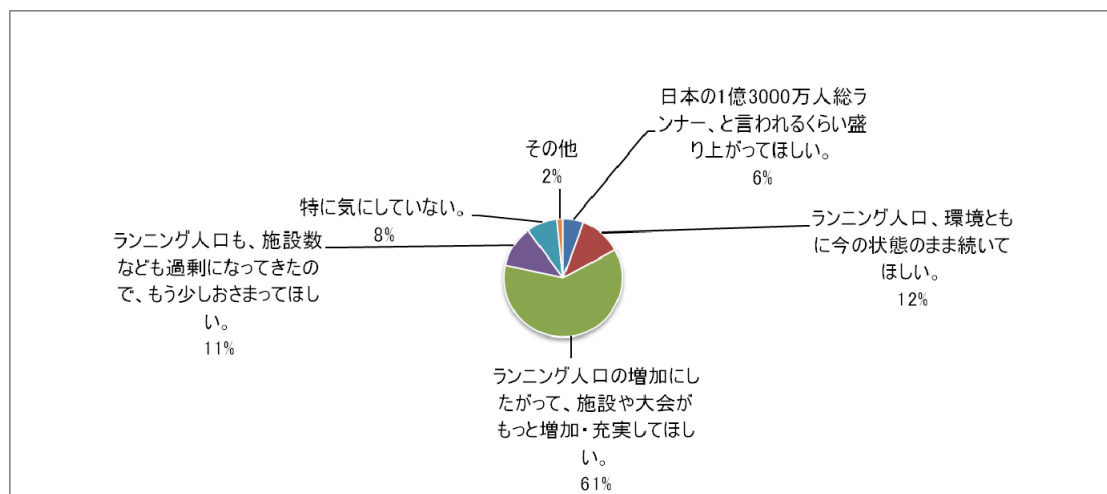
男性主体であったランニングの世界に、女性の参加が続き、ブームを後押ししているものと思われます。



Q8. あなたは、ランニング人口や環境が、今後どうなっていくことを望みますか？最も近い回答をお選びください。（単一回答）

大会増加・環境整備を求める声が6割

ランニングの盛り上がりを否定的にとらえる回答「ランニング人口も、施設数なども過剰になってきたので、もう少しおさまってほしい」は、11%でした。大多数は盛り上がることは良いとしながらも、反面「走れる環境」の向上を求める声が多い結果となりました。大会・施設の充実が、国民的なスポーツとしての位置をさらに高められるかのカギであると考えられます。



【報道関係者からのお問合せ先】

株式会社デアトレ アンケート担当

TEL: 03-6825-1493 E-mail: press@runningschool.jp

【メディアご掲載時の一般の方からのお問合せ先】

ランニングスクール+Q事務局 info@runningschool.jp

回答者プロフィール

【調査仕様】

◆調査対象◆ ランニングスクール+Q スクール生（Web 登録者）

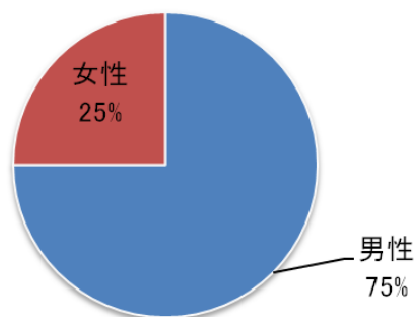
◆調査期間◆ 2010 年 4 月 1 日～4 月 15 日

◆調査方法◆ インターネット調査

◆有効回答◆ 1,258 人

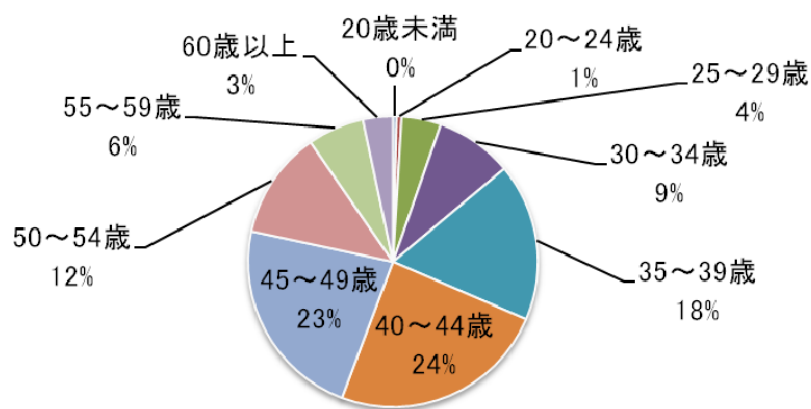
【男女比率】

男女比率

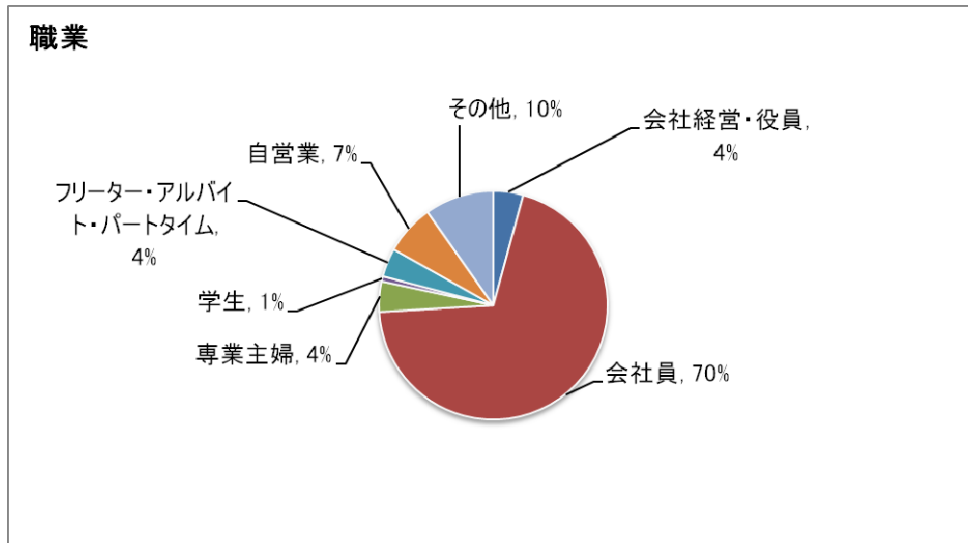


【年齢】

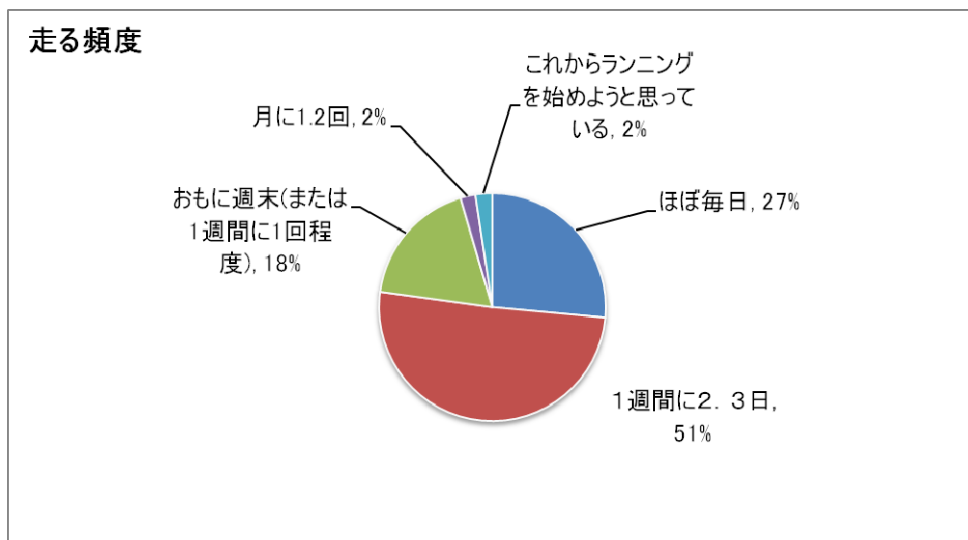
年齢分布



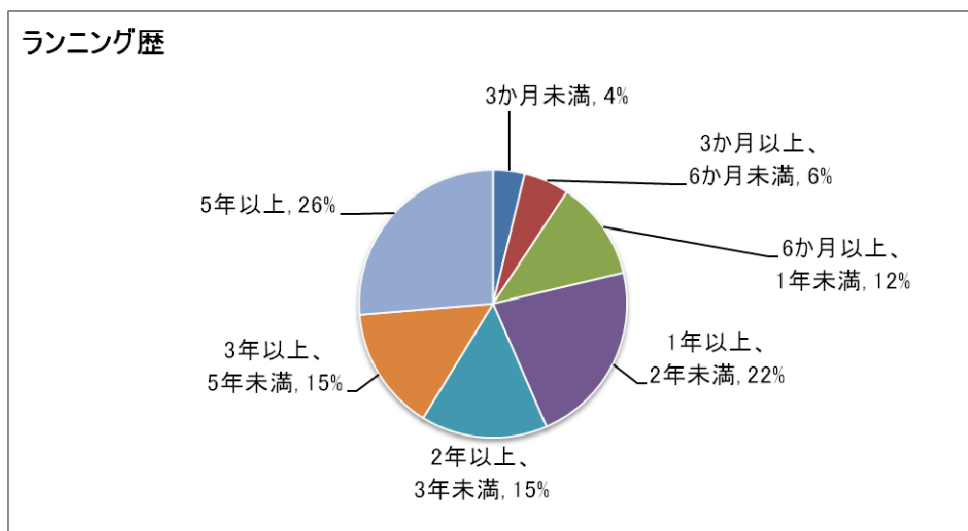
【職種】



【ランニングの頻度】



【ランニング歴】



参 考

■「VAAM presents ランニングスクール+Q」について

「VAAM presents ランニングスクール+Q」は、多くの一流コーチ陣による豊富なコンテンツで、ランナーを応援している Web サイト上のランニングスクールです。2009 年 4 月 15 日の開校以来、2010 月の 2 月時点では早くも 14,000 名を超えるスクール生（登録者）を迎えました。

ウェブ上でランニングのノウハウや知識の発信だけでなく、一流コーチ陣の指導のもとでスクールイベントを開催し、市民ランナーの皆さまが、ランライフの Q（Quality）をより高められるよう応援しています。



《参考》 2009 年に開催したランニングイベント

<http://www.runningschoolq.jp>

I. ランニング初心者対象のスクールイベント（計 7 回）

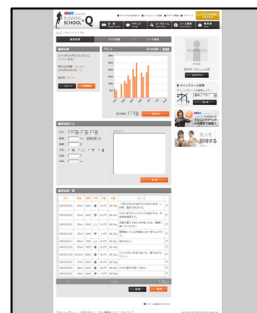
- ①6/7 東京…コーチ：高橋尚子さん／100 名
- ②6/21 仙台…コーチ：小出義雄監督／100 名
- ③6/28 大阪…コーチ：高橋尚子さん／100 名
- ④7/5 福岡…コーチ：小出義雄監督／100 名
- ⑤7/29 北海道…コーチ：有森裕子さん／80 名
- ⑥8/6 岡山…コーチ：有森裕子さん／50 名
- ⑦9/12 愛知…コーチ：高橋尚子さん／100 名

II. ランニング中級者・上級者対象のスクールイベント（計 3 回）

- ⑧10/4 大阪…コーチ：小出義雄監督／100 名
- ⑨11/21 東京…コーチ：金 哲彦さん／50 名
- ⑩12/19 静岡…コーチ：有森裕子さん／80 名

■練習記録のページ「My トレーニング TOP」について

スクール生のトレーニングをサポートする My ページです。自分の練習計画、練習日誌、日付、距離、体重、消費カロリーを記録しておける機能が充実しています。このほか、Google マップを使用した地図をもとに走行距離を割り出す機能など、トレーニングの進捗管理をこれだけで完結できます。また、スクール生同士の交流を図る、ブログ機能「Blog+Q」や掲示板も搭載、盛んなやり取りが行われています。



■株式会社デアトレについて

株式会社デアトレは、Web サイト Deatre.com (<http://www.deatre.com>) のコンテンツ 制作・編集、サイト運営を、株式会社共同通信とともにしています。また、各種 Web マーケティングサービスを提供しています。

【報道関係者からのお問合せ先】

株式会社デアトレ アンケート担当

TEL: 03-6825-1493 E-mail: press@runningschoolq.jp

【メディア掲載時の一般の方からのお問合せ先】

ランニングスクール+Q事務局 info@runningschoolq.jp